

梅雨明けが目前となり、益々暑い日々が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染が身近な問題となっています。感染を防止するために、3密を避け、こまめな手洗い、マスクの着用を徹底しましょう。



6年生を対象としたPost-CC OSCEが開催されました。

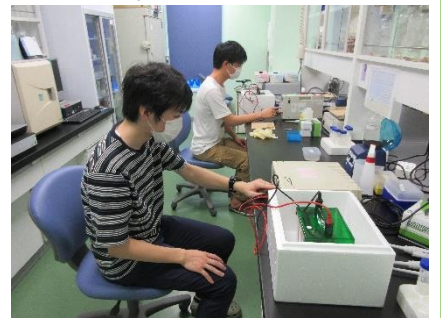
7月18日(土)にPost-CC OSCEが行われました。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、県外からの模擬患者の参加をウェブ上とし、また課題数も縮小して行われました。学生は、ウェブ上の医療面接を受ける模擬患者と同室の身体診察を受ける模擬患者の双方に適宜、診察を行うという形式で実施されました。このような形式のPost-CC OSCEを実施するのは初めてということもあり、事前に6年生を対象として、また内部評価者を対象としてPost-CC OSCEの概要や注意点に関する説明会を複数回行いました。Post-CC OSCEでは、定められた時間内に医療面接、身体診察を行い、評価者に症例に関するプレゼンテーションを行う能力が問われました。学生は、双方の模擬患者(ウェブ上の面接模擬患者と同室の身体模擬患者)に対し、医療面接、身体診察を12分間で行い、情報の整理と評価者への報告を4分間で行いました。実際に実施して気付いた改善すべき問題点もありましたが、大きなトラブルもなく、無事予定通り、終わることができました。今回、気付いた問題点を改善し、来年度のPost-CC OSCEに活かしていきたいと思います。ご協力頂きました、教職員、模擬患者の皆様、どうも有難うございました。



3年生を対象とした自己開発コースが始まりました。

7月2日(木)から3年生を対象とした自己開発コースが始まりました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国外・国内の学外研究施設での研究活動が中止となり、3年生全員が本医学部内で研究活動を行っています。今年度は、カリキュラムが変則的で、期間も若干縮小していますが、学生の皆さんが積極的に研究活動に取り組み、リサーチマインドを育成していくことを期待しています。



附属病院の入館制限及び面会制限のレベル変更に連動して臨床実習の実施制限レベルも変更します。

附属病院の入館制限及び面会制限のレベル分類は、表1の通りです。

表1 入館制限及び面会制限のレベル

表1の最下段が臨床実習の制限レベルになります。表上段に示されている感染状況のレベル変化に伴い、附属病院の入館制限及び面会制限のレベルが変更されると

それに連動して臨床実習の実施制限レベルも変更されます。

レベル	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
設置目安	伝播するような感染症の発生が国内で確認されていない	伝播するような感染症の発生が国内で確認されている	伝播するような感染症の発生が県内・近隣地域で確認されている	伝播するような感染症の発生が県内・近隣地域で確認され、感染症に対する【注意報】または【警報】が出ている	伝播するような感染症の発生が県内・近隣地域で確認され、地域流行期にあり、感染症に対する【警報】が出ている
入館制限の内容	入館制限なし	入院患者・新患外来患者及び、その付添者のみ、確認票及び検温	入館者全員の検温 該当者*は確認票チェック *入院患者・新患外来患者及び付添者、面会者、37.0℃以上又は症状等の申出のあった者	入館者全員の検温及び確認票チェック	入館者全員の検温及び確認票チェック
面会制限の内容	面会制限なし	マスク着用と手指衛生の徹底	面会制限（ご家族の代表者1名のみ）	面会禁止（医師等の許可がある方のみ可）	面会禁止（全面禁止）
臨床実習	制限なし	学外実習の制限 実習先の方針に従う	病室への立ち入りの制限	病棟への立ち入りの制限	医学部構内への立ち入り禁止

表2

臨床実習の実施制限レベルの具体的な内容は表2の通りです。

今後も新型コロナウイルスの感染状況によって、附属病院の入館制限及び面会制限のレベルが変更されることが予想されます。その際は、

臨床実習の実施制限レベルも連動して変更することに留意ください。



新型コロナウイルスによる実習実施の制限レベル表

実習内容	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	注意事項
	制限なし	学外実習 制限	病室立入 制限	病棟立入 制限	構内立入 禁止	
入院患者の医療 面接・身体診察	○	△	△	×	×	双方がマスクを着用し 短時間で実施
入院患者を対象とし た看護学実習	○	△	△	×	×	双方がマスクを着用し短時間で実施 ※看護師免許を有する院生に ついては、レベル3においても 各実習担当部署で判断
助産学実習	○	△	△	×	×	実習担当部署で判断
外来実習	○	△	△	×	×	双方がマスクを着用し短時間で実施
検体検査実習	○	○	△	△	×	3密に注意して実施
検査見学（介助）	○	○	△	×	×	エアロゾル発生リスクの ある場合は避ける
手術見学	○	○	△	×	×	エアロゾル発生リスクの ある場合は避ける
手術参加 （清潔）	○	△	△	×	×	麻酔導入（挿管）、抜管時 には一時的に退出 病院備品在庫状況に配慮し ながらも弾力的に運用する
回診	○	△	△	×	×	3密に注意して実施
カンファレンス	○	○	△	△	×	3密に注意して実施
レクチャー	○	○	○	△	×	3密に注意して実施
クリニカルスキルア ップセンター実習	○	○	○	△	×	3密に注意して実施
オンライン実習	○	○	○	○	○	

○は実施可 ×は実施不可 △は実習担当部署ごとに判断する

ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp